



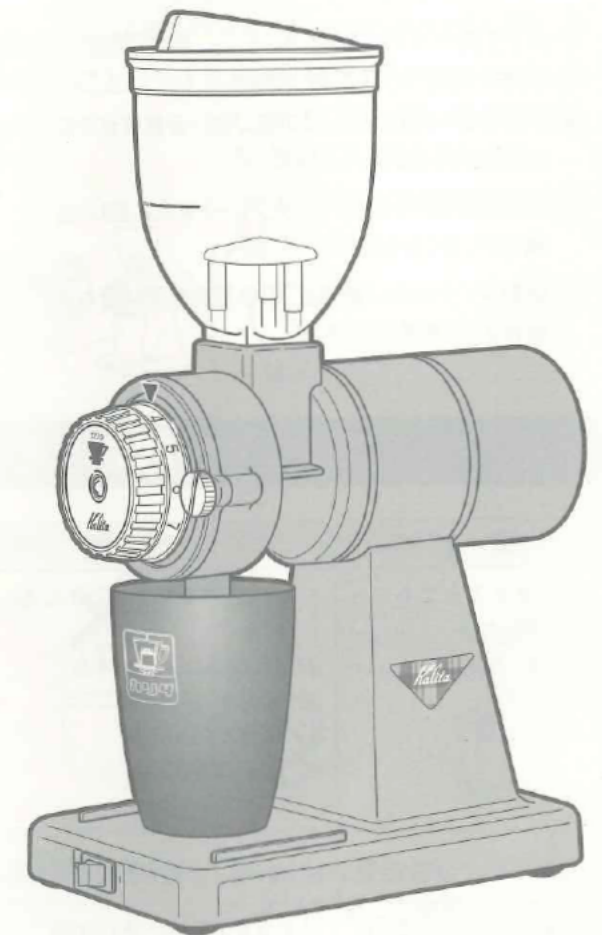
Coffee Grinder
Nice Cut G

コーヒーグラインダー
ナイスカットG

取扱説明書 (保証書付)

このたびはカリタ・ナイスカットGをお買い上げ
いただきまして、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために取扱説明書をよく
お読みください。

<この説明書はお手元に大切に保存してください>



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

お買い上げの商品と、この説明書のイラストは異なる場合があります。

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
- 表示と意味は次のようになっています。

 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。	 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
---	--	---	---

*物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

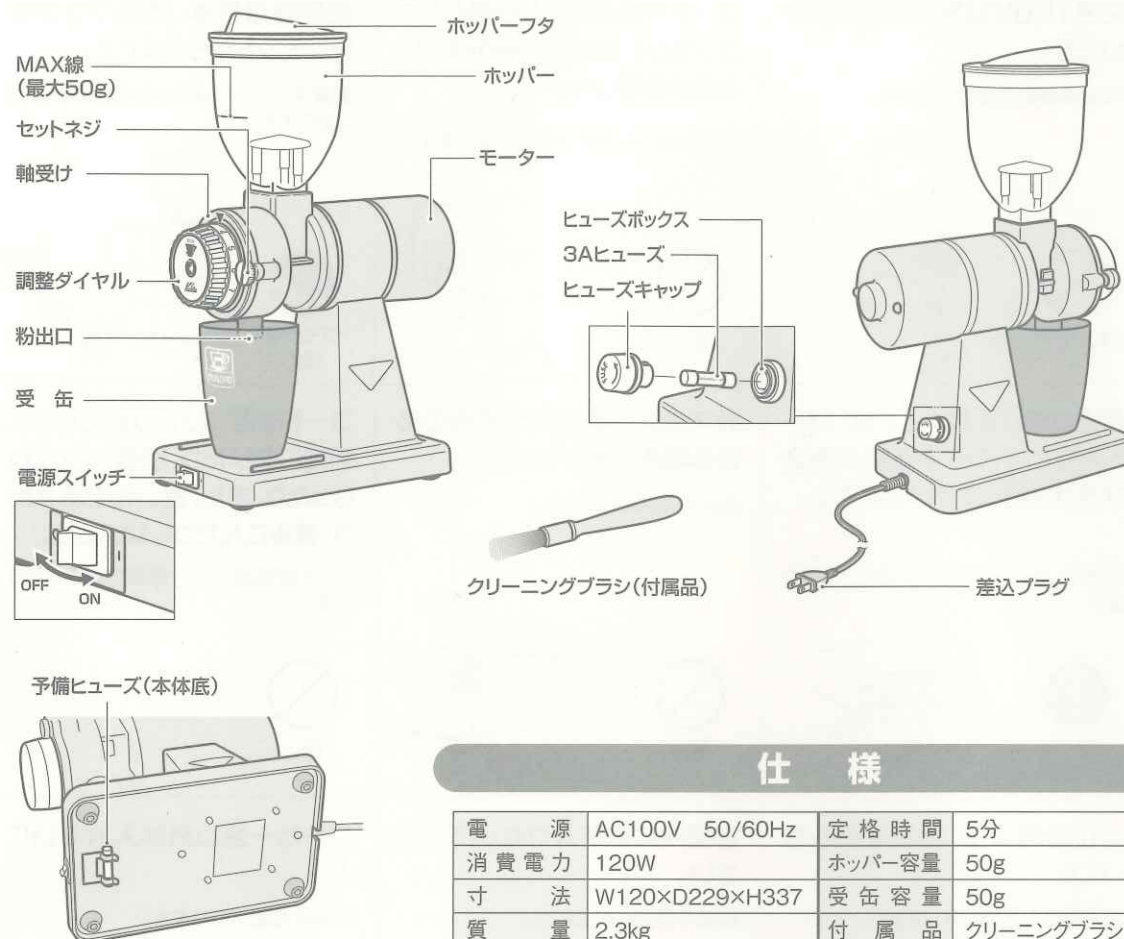
図記号の例	
 感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	○は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 プラグを抜く	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告		
修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理は行わないこと。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。 修理は、お買い上げの販売店またはお近くの「カリタ」にご相談ください。	水につけたり、水をかけたりしないこと。 ショート・感電の恐れがあります。	ホッパー、粉出口、豆供給口には絶対指を入れないこと。 けがの原因になります。
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと。 やけど・感電・けがをすることがあります。	容器の中に指を入れないこと。 誤ってスイッチが入ったり、内部の刃に触れると、けがをすることがあります。	

注意

交流100V以外では使用しないこと。 火災・感電の原因になります。	コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと。 感電・ショート・発火の原因になります。	使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜くこと。 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
差込プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜くこと。 感電やショートして発火することがあります。	ガスコンロ等の炎や熱気のあたる場所に置かないこと。 火災の原因になります。	コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、また、重い物を載せたり、挟みこんだりしないこと。 コードが破損し火災・感電の原因となります。
定格時間以上、連続使用しないこと。 発火故障の原因になります。	容器内に水を入れないでください。 故障の原因になります。	コーヒー豆以外は入れないこと。 故障の原因になります。
ホッパー、受缶を必ず取り付けて使用すること。 けがや故障の原因になります。	平らな安定した場所で使用すること。 振動などで転倒落下する危険があります。	ホッパー、受缶はしっかり乾燥してる状態でご使用ください。 故障の原因になります。

各部の名称

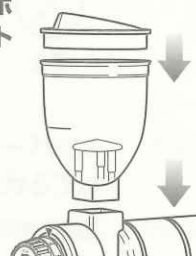


仕様

電源	AC100V 50/60Hz	定格時間	5分
消費電力	120W	ホッパー容量	50g
寸法	W120×D229×H337	受缶容量	50g
質量	2.3kg	付属品	クリーニングブラシ

正しいセット方法と使い方

1. 本体にホッパーとホッパーフタをセットします。



2. 受缶をセットします。

- 受缶内部はつねに乾燥・カラの状態です。



3. 使用する器具に合わせて、調整ダイヤルを設定してください。

使用器具	調整目盛
カリタ式 ペーパー式 コーヒーメーカー	3.5 (中挽き)
サイフォン	1 (細挽き)
バーコレーター	6 (荒挽き)



4. 人数分に合わせてホッパーにコーヒー豆を入れます。

- コーヒー豆の量は、1人前約10gです。
- 注) コーヒー豆を入れたら必ずふたをしてください。
- 受缶容量は約50gです。
- 注) モーターの過熱を防ぐために、ホッパーのMAX線 (約50g) を超える容量を一度に挽くことは避けてください。



5. 電源をつなぎます。

- 差込プラグを100Vのコンセントに差し込んでください。
- 電源スイッチを入れて豆を挽いてください。
- 注) 回転中は危険ですから、豆容器や粉出口の中へ指などを差し込まないでください。

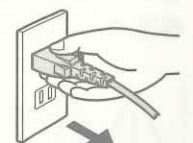


6. 出来上がり。

- 豆を挽き終わりましたらスイッチを切ってください。
- コーヒーをおいしく飲んでいただくため、豆はご飲用の都度、必要量だけを挽いてください。

7. 電源をはずします。

- コーヒーミルのご使用後は、その都度差込プラグをコンセントから抜いてください。



運転中にモーターの回転が止まった時は…

※ 異物が入りモーターの回転が停止した場合、モーターおよび電子部品の損傷を防止する目的でヒューズが切れます。

1. 異物が入った場合は、次の手順にしたがって異物の除去を行ってください。

- 電源スイッチを切る。
- 差込プラグをコンセントから抜く。
- セットネジを取り外す。
- 軸受けを引き、回転カッター軸を抜きとりカッター内に混入した異物を除去してください。
- 内部のコーヒー粉を掃除してから、回転カッター軸を手で軽く回しながら押し込んでください。回転カッター軸の切欠部と内径の切欠部とが合いますと奥に入り、回転カッター軸が固定します。
- 軸受けをセットネジにてきちんと締付けます。

分解・組立手順は次項の「お手入れの仕方」もご参照ください。

2. ヒューズが切れた場合、ヒューズボックスのキャップ部を押し込みながら止まるまで左に回しますと、キャップに付いたガラス管ヒューズを取り出すことが出来ます。(取り付けは逆の手順。)

- 注) 予備ヒューズが本体の底板についていますので交換してください。
- ヒューズは3A以外は絶対に使用しないでください。
- 注) 自動車用ヒューズは使用出来ません。



お手入れの仕方

お手入れの時は、必ず差込プラグをコンセントから抜いてください。

1. セットネジ (2ヶ所) を左に回し、取り外してください。

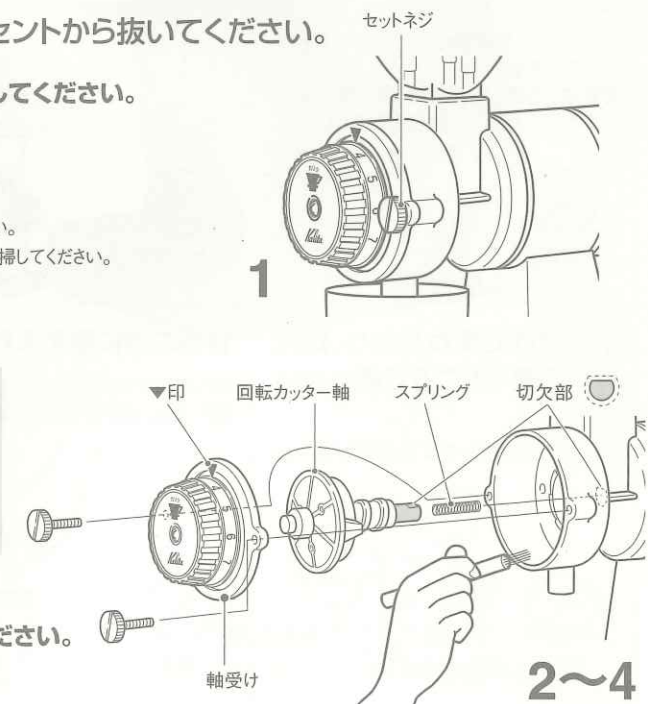
2. 回転カッター軸を取り外してください。

- クリーニングブラシ等でカッター部を入念に掃除してください。
- 本体、ホッパー、ホッパーフタ、受缶は乾いた布で空ぶき清掃してください。

3. 回転カッター軸を差し込みます。

- 注) 回転カッター軸をセットする際、スプリングが入っていることを確認してください。
- 注) 回転カッター軸の切欠部と、内径の切欠部を確認して差し込んでください。この時回転カッター軸を前後させスムーズに動くこと、固定カッターに当たることを確かめてください。

4. 軸受けを取付けセットネジで固定します。この時▼印の位置が上になるようにしてください。



本体外部の お手入れ

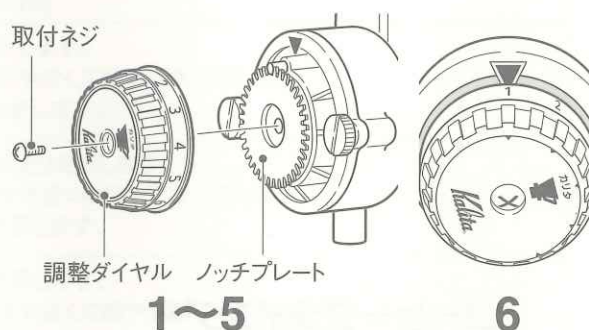
●中性洗剤を浸し、かたく搾った布で拭いた後、洗剤が残らないようからぶきをしてください。
※傷や故障の原因になりますので、クレンザーや金属タワシでの清掃はおやめください。

※シンナー、ベンジン、ベンゾール、化学ぞうきん、殺虫剤など有機溶剤を含むもので拭くとプラスチックを傷め、変質や変色、故障の原因になりますので避けてください。

5. メッシュの調整は、次項の「ダイヤル調整の仕方」に沿って調整してください。

メッシュ(挽目)調整の仕方

- 調整はダイヤルの中心部の取付ネジをプラスドライバーで取り、調整ダイヤルを外してください。
- 差込プラグをコンセントに差し込んでください。
- 電源スイッチを入れモーターを回します。
- ノッチプレートに右にゆっくり回し、軽い金属音がするまで回してください。
- 金属音が出たところでノッチプレートを左に回し、金属音がしなくなるまで戻してください。
- 調整ダイヤルの1(細挽き)の位置を▼印に合わせ取付ネジを締めてください。



故障とその対策

症 状	原 因	対 策
スイッチを入れてもモーターが回らない (モーター音がしない)	1) 差込プラグがコンセントに差し込み不完全 2) 差し込みコンセント不良 3) 電源コード不良 4) 電源スイッチ不良 5) ヒューズ切断 6) モーター不良	1) 差し込みを再確認してください 2) 他の電気器具を使って確認してください 3) メーカーに点検または修理を依頼してください 4) メーカーに点検または修理を依頼してください 5) 4頁「運転中にモーターの回転が止まった時は…」2項にしたがい、予備ヒューズと交換してください 6) メーカーに点検または修理を依頼してください
モーターが回っているが回転カッター軸が回転しない	遊星歯車の破損が考えられる	取扱店もしくはメーカーに点検または修理を依頼してください
モーターの回転音がするけれど豆が挽かれない	1) カッターの目詰り 2) 粉出口の目詰り 3) 受缶内にコーヒー粉が充満している 4) 回転カッター軸の破損	1) カッター掃除又は交換してください 2) 掃除をしてください 3) 受缶内のコーヒー粉を取り出してください 4) 回転カッター軸交換をしてください
コーヒー豆を挽いている途中でモーターが急停止した場合	1) 異物混入でカッターが回転できない 2) コーヒー豆の中に異物混入 3) モーター不良	1), 2) 4頁「運転中にモーターの回転が止まった時は…」1項を参照し点検してください 3) メーカーに点検または修理を依頼してください

ご注意

次のことは必ず守ってください。

- 電源は必ず、ご家庭のAC100Vのコンセントをお使いください。
- 連続5分を越える使用はさけてください。
- ヒューズは3A以外は絶対に使用しないでください。
- このコーヒミルは、コーヒー豆専用の器具ですから、コーヒー豆以外のものは挽かないでください。
- モーターの回転中は危険ですから、ホッパーや粉出口から中へ指や、ハシなどを差し込まないでください。
- 使用中にモーターが止まった時は、金属破片や、石など異物がかみこんだものと思われますので、すぐにスイッチを切って、4頁「運転中にモーターの回転が止まった時は…」1項の手順で異物を取り除いてください。
- モーターの過熱を防ぐために、一度に50グラム(ホッパーのMAX・目盛での量)を越えるコーヒー豆を挽くことはさけてください。
- 近くに発熱するもの(レンジ、トースターなど)がある場所でのご使用や放置はさけてください。
- 振動などで転倒落下するおそれがありますので、表面が平らな場所でご使用ください。
- 本体を分解しないでください。
- 感電や故障の原因になりますので、本体を水につけたり、水洗いしたりしないでください。
- 水気や湿気の多い所に放置しないでください。
- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差込プラグをコンセントから抜いてお買い上げ店、またはカリタにご相談ください。
- 2～3ヶ月に一度はお手入れの仕方にしたがって内部のコーヒー粉を掃除してください。
- お手入れの時は差込プラグは、必ずコンセントより抜いて行なってください。
- シンナー、ベンジン、ベンゾール、化学ぞうきん、殺虫剤など有機溶剤を含むもので拭くとプラスチックを傷め、変質や変色、故障の原因になりますので避けてください。

修理サービス・保証について

修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差込プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店までご相談ください。
なおご相談なさるときは、品名(カリタ・ナイスカットG)とお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- カリタはこのナイスカットGの補修用部品を製造打切後、最低5年間保有しています。
- 保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合は、お近くのカリタ営業所へご相談ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

保証について

この取扱説明書の裏面は、保証書になっています。

- 保証書(裏面)にお買い上げ日、販売店名などの所定事項の記入がなければ有効となりません。もし記入がないときは、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 万一故障した場合には、保証書記載内容の保証期間内に限り、お買い上げ販売店が無料修理いたします。
- このカリタ・ナイスカットGの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。
その他詳細は保証書をご覧ください。